

センター
便り

絆

きずな

第205号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <https://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者:メンセンディーク マーサ
編集責任:土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

「ともだち・架け橋・じどうかん」

理事 中山 あい

児童館の新年度がスタートしました。

子どもたちの笑い声、泣き声……様々な声が響きわたります。今回は児童館の本だなから二冊をご紹介します。

「しんせつなともだち」

ファンイチチュン

冬の森、食べ物を探しに出かけたウサギはカブを二つ見つけます。「ゆきが、こんなにふって、とてもさむい。ろばさんは、きつとたべものがないでしよう」うさぎは、カブをひと

つたべ、もうひとつをロバの家に届けます。ちょうど食べ物探しから帰ったロバは、家に置いてあるカブを見つけて、こじかの家に届けます。そしてこじかはやぎの家へ。こやぎはウサギの家へ……」順につないでいく「しんせつ」のリレーは、心にポツと明るいあたたかな光をともします。そして、期せずして自分のところに戻ってくる、「しんせつ」の不思議。

自分が大切にされ、愛されているという安心感は、また別の誰かを大切にす

やさしさへと繋がっていくのです。ともだちのことを心配するということは、大切なものや相手を思う気持ちを分かち合うということ。それは、ともだちも自分も幸せにするということにつながる、平和をつくりだす第一歩になるのだと思います。

「あおくんときいろちゃん」

レオレオニ

仲良しのあおくんときいろちゃん、出会えたうれしさでいっぱい。飛んだりはねたり遊んでいるう



春は「おめでとう」と「ありがとう」の季節

西陣会居宅サービス係では、二〇二二年度から毎月一回、日曜の早朝に職員会議を行っています。日々の業務上、全員の予定を合わせるのが難しいため、この時間帯で集まっています。早朝に集まるのは少し大変ですが、直接顔を合わせて話せる時間は貴重なひとときです。

会議では、情報共有や虐待防止の振り返りだけでなく、その時々に応じたテーマを設けて話し合っています。制度や緊急時の対応、キャリアアップ、現場での工夫など、幅広いテーマを取り上げてきました。こうして会議を継続してきたことは、確実に私たちの力と支える重要な取り組みだと感じています。

今後は、この職員会議をさらに「成長の場」として育てていきたいと考えています。誰もが話しやすく学び合える雰囲気や大切にしたい、ただの報告や確認の場ではなく、一人ひとりが主体的に関わり、自分の経験やアイデアを持ち寄り組みを共に生み出す「共創の場」へと進化させていけるように、議題や進行方法をより工夫していきたいと思っています。

これからも、お互いの顔を見ながら気づきや課題を分かち合い、仲間として支え合いながら成長できる会議であり続けられたら良いなと思っています。また、近年は居宅イ



職員会議風景

居宅サービス係 インスタグラム



ンスタグラムでも毎月の職員会議の様子を発信しております、多くの方から好評（いねー）をいただいています。二〇二六年三月にはフォローワーが二千九百人を超えました。ぜひ、そちらもご覧いただければ幸いです。

二〇二六年度もどうぞよろしくお願いいたします。

それでも

二〇二六年度、地域活動支援センターふらっと（以下ふらっと）は発足してから三十七年となります。一九八一年の国際障害者年に始まった「完全参加と平等」の流れに始まり、バブル経済の追い風にのって一九八九年に先駆的な活動として夜ふらっとは産声をあげました。

開所当時のメンバーは、二十歳前後の方が多かったように思います。その後も、メンバーの出入りはあったものの、今でも参加し続けて下さっている古参メンバーは多くおられます。

現在の夜ふらっとの団塊の世代である、五十代の余暇のあり方は、二十代のころと比べると大きく変わってきています。一般的に、体力の低下（仕事の後に遊ぶ体力が残っていない、週末はのんびりしたい）、嗜好の変化（「こってり」よ

り「あっさり」、豚カツより焼き魚）、などは特に顕著に出てきているように思います。※自己評価含む

それでも！

夜ふらっとに来たら、長く付き合ってきた仲間たちがいる、大好きなボランティアや職員がいる、皆で夜の街をお出かけする、ちよつと胸やけるかもだけど、ガッツリ食べたい、お代わりだつてほしい、大好きなボウリングも1ゲーム投げるだけで翌日肩や腕が痛いけど、あの爽快感が忘れられない、そんな、それでも！を私は応援したいです。

止めておいた方が良くない？とかは誰でも簡単に言えます。でも、叱られることもあるかもしれないけど、どうせならやってみようか！を夜ふらっとでは勇気をもって言い続けていきたいと思っています。

地域生活支援センター

西陣会居宅サービス係

居宅職員会議について

主任 永瀬 健太郎

ちに、みどりになってしまいました。帰った家では、「こんなみどりの子はうちの子じゃないよ」と言われてしまいます。悲しくなって、泣いて泣いて涙になつて、またもとのあおくんときいろちゃんに戻ります。

児童館は、いろんな色を持ったかけがえのない一人ひとりの出合いの場。混ざり合って、時にはぶつかり合って、どんな素敵なユニークな色ができるのかは、お楽しみ。お話のあおときいろのふたつのいろが混ざり合って、新しい色が生まれるように、人と人の心も溶け合って、平和な色が生まれるといいなあと思います。

『なあなあ、戦争はなくても、いじめや自殺があるのって、平和じゃないよなあ』と突然言ったのは、Iさん。日本では今は戦争はなくても、子どもたちを取り巻く環境は必ずしも「平和」とは言えません。子どもたちは社会を映し出す鏡。家庭や地域社会の状況は、まず、子どもたちの心に影を落とします。児童館の子どもたちの様子を見ていても、ちよつとしたことで腹を立てて手が出てしまう子、なにやらイライラしてついつい心ない言葉を言ってしまう子。こど

もたちの、言葉にならない心の叫びの現れでしょうか。

ともだちとの涙ながらの大きなの後、「自分に言われて傷ついた言葉ってよーく覚えていたけれど、人に言っちゃったことって、忘れちゃうよね……ごめんね」とつぶやいた子がいました。ちいさな幼児さんがからだいっぱいに泣く姿を見て、「なんで泣いてるの？」「お母さんがいなくて、さみしいんちがう？」「おなかすいてるん？」と、その子を取り囲んで、あれこれ思いめぐらせている子どもたちの姿がありました。ともだちの痛みを自分の痛みとしてより添おうとすること私たちの姿が、「どうしたん？」「おいでよ」「だいじょうぶ？」といった日常の小さくても豊かなやりとりが「平和」につながる大きな一歩になるんだと感じます。

青葉・若葉が美しい命の息吹を感じる季節。新年度がスタートしました。西陣児童館は三階建て。京都市の児童館の中で一番空に近い児童館です（きつと！）空に向かってぐうーーんと大きく手を伸ばし、大きく深呼吸をして心のうちに新鮮な空気を取り入れながら、新しい一歩を踏み出していきましょう。



みんなで一緒に「いただきます」

(デイ・児童館合同 おおきなおにぎり作っちゃお！豚汁・唐揚げパーティー)

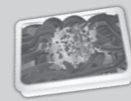


ふるさとの豚汁星に思いをはせて……

この建物での最後の秋フェス

○日時 2026年10月4日(日)

○場所 京都市民福祉センター・西陣児童館・デイセンターふらっと



「いい歳のとりかた」って色々なところでよく聞きます。若さへ願望、加齢に対する肯定感など色々あるように思いますが、自分のスタイルを崩さずに、ちょっと無理しても挑戦することとか、自分の大切にしていくコトやモノを、いつまでも大事する気持ちを幾つになっても忘れないことが大切なのだと思います。

「支援センター「きらリンク」」

さらリンクは昨年十月に、ひっそりと開所二十五周年を迎えました。開所時からの職員は土屋センター長ですが、当時と比べて福祉制度が充実してきたこともあり、一人暮らしをする方が増えたようです。「障害のある人が一人暮らしをする」と聞くと、まず気になるのはお金のことでしょうか。障害年金や手当を受給している人、働いている人は給料があります。が、それだけでは厳しい場合もあります。そんなときに考えられる福祉制度が、生活保護だと思っています。

去る二月十日、基幹型支援センターの事業として、『相談支援専門員等スキルアップ研修』を実施・受講しました。今回のテーマは『生活保護の「イロハのイ」』です。京都市の職員で、長年生活保護業務を担当され

「支援センター「にしん」」

「ごくあたりまえの生活」

高田 和幸

「いい歳のとりかた」って色々なところでよく聞きます。若さへ願望、加齢に対する肯定感など色々あるように思いますが、自分のスタイルを崩さずに、ちょっと無理しても挑戦することとか、自分の大切にしていくコトやモノを、いつまでも大事する気持ちを幾つになっても忘れないことが大切なのだと思います。

年々、街ぶらのようなゆつくりとみることが出来る番組が好きなようになってきて、「サニータイム」、「ちゃちゃ入れマンデー」、「よーいどん」、などの京都特集は興味よくみています。センター付近の食べ物のお店や楽しめるイベントなどが取り上げられることもあり、自分の楽しみでもありますが、利用者の方々と一緒に経験できないかなと思つてみえています。北野天満宮の梅園や平野神社の桜、上七軒の舞踊、喫茶店やパン屋さん、洋和菓子店など自分も経験したことがないこともまだまだあり、一緒に楽しめていたことが嬉しく思いつつ、生活をとまらせていただいています。

ごくあたりまえの生活とは何なのでしょう？ある参考書では「ごく」というのは「その人らしい」あたりまえの生活という記述がありました。その人らしいというの、自分らしいと言えるのではなかなと思つています。人にはそれぞれのものであり、それにあうものも様々です。こちらが良いと思つても、実は良くもなかったということもあるとは思っています。一緒に楽しめていた生活の中で、いつも自問自答しながら、悩みながら、職員間で相談しながら、

「支援センター「にしん」」

「考え続けていく……。」

相賢 上竹 希

福祉の現場にいると、社会復帰という言葉をよく耳にします。辞書で調べてみますと「病気や事故で正常な社会活動ができなくなった人が、回復して再び社会で活動するようになること。」との記載がありました。ふと、以前の職場にて、とある事情により逮捕されたご利用者様がおられたことを思い出しました。その時は職場の判断もあり、逮捕をきっかけに支援者としての関係が途切れることになりました。

勿論、犯罪は良くない事なのは皆様ご存じだと思いますが、何故そういう状況に至ったのか、周りももう少し手を伸ばせばその方の孤立を防ぐことが出来たのではないかと当時、非常に

悔しい思いをしました。その時の心残りもあり、昨年春頃から定期的に出所者支援等に関する勉強会に参加する機会を得て、そのなかで法律も大きく変わつつあることを知り、懲役刑と禁固刑を廃止してできた拘禁刑は、懲罰という刑事政策的な意義だけではなく、福祉的なサポートにより再犯防止を重視していくことになったことを学ばせていただきました。

時々ではあります。にしんにも以前逮捕されていた方、



手づくりおみくじやさん (京都信用金庫でお店屋さんごっこ)



教会清掃での出会いに感謝して

「支援センター「きらリンク」」

「ごくあたりまえの生活」

高田 和幸

「いい歳のとりかた」って色々なところでよく聞きます。若さへ願望、加齢に対する肯定感など色々あるように思いますが、自分のスタイルを崩さずに、ちょっと無理しても挑戦することとか、自分の大切にしていくコトやモノを、いつまでも大事する気持ちを幾つになっても忘れないことが大切なのだと思います。

年々、街ぶらのようなゆつくりとみることが出来る番組が好きなようになってきて、「サニータイム」、「ちゃちゃ入れマンデー」、「よーいどん」、などの京都特集は興味よくみています。センター付近の食べ物のお店や楽しめるイベントなどが取り上げられることもあり、自分の楽しみでもありますが、利用者の方々と一緒に経験できないかなと思つてみえています。北野天満宮の梅園や平野神社の桜、上七軒の舞踊、喫茶店やパン屋さん、洋和菓子店など自分も経験したことがないこともまだまだあり、一緒に楽しめていたことが嬉しく思いつつ、生活をとまらせていただいています。

「支援センター「にしん」」

「考え続けていく……。」

相賢 上竹 希

悔しい思いをしました。その時の心残りもあり、昨年春頃から定期的に出所者支援等に関する勉強会に参加する機会を得て、そのなかで法律も大きく変わつつあることを知り、懲役刑と禁固刑を廃止してできた拘禁刑は、懲罰という刑事政策的な意義だけではなく、福祉的なサポートにより再犯防止を重視していくことになったことを学ばせていただきました。

時々ではあります。にしんにも以前逮捕されていた方、



熱唱♪



カラオケタイムでナイススマイル

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

こどもたちのこえ、声で、こどもまんなか

坂本 隼哉



こどもたちの企画が実現!! クリスマスプロジェクトチーム

国が掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向け、児童館の役割はさらに重要

性を増しています。それは単に場所を提供することでなく、こどもの権利を守り、主体性を尊重する姿勢を形にすることです。私たちは、一人ひとりの存在をまんなかに据え、こどもが自分の考えや希望を安心して表明できる環境を整えています。

制度としての枠組みを超え、こども自身が「自分たちの居場所だ」と実感できる運営を心がけています。

意見を聴く、と聞くと会議のような場を想像するかもしれませんが。しかし、児童館での対話はもっと自由で、柔らかなものです。普段のあそびの中で出てくる言葉や、何気ない選択の中にこそ、その子の本音が隠れています。ボードゲーム・ボール遊びのルールを話し合ったり、今日食べるおやつを選んだりする一瞬一瞬が、貴重な意思表示の場です。私たち職員はその小さな心の動きを見逃さないよう、心にゆとりを持って寄り添うことを大切にしています。こどもが主役となる行事の企画でも、大人の都合を優先するのではなく、彼らの「やってみよう」という気持ちを大事に思っています。



自分たちが使う建物は自分たちも考える!! (建て替えの説明に真剣!)

こどもたちも、体全体でメッセージを発信しています。どんな小さな反応も肯定的に受け止め、その存在が尊重されていると実感できるような努めています。日々のささやかな変化を喜び、共に過ごす時間を積み重ねることで、確かな信頼関係を築いていきます。

児童館は、こどもたちの声が響き、重なり合う場所です。これからも皆様と共に、こども一人ひとりの輝きを支え、歩んでいきたいと考えています。あたたかな眼差しで、彼らの成長を見守っていただければ幸いです。

活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

- 1月 6日 こどもへの建て替え設計プラン報告会
17日 福祉のお仕事相談会
16日 KATARibar
17日 キヤリアパス&人材育成計画推進委員会
24日 正規職員会議
26日 レクリエーション企画「なんちゃって職員食堂2026冬」
30日 産業医面談・安全衛生委員会
26日 月曜集会
30日 リクルート委員会

【デイセンターふらっと】

- 1月 17日 アセスメントセミナー(18日)
19日 リーダー会議
23日 全体行事カラオケ
2月 16日 リーダー会議
23日 同志社大学実習生受け入れ(3月4日)
25日 全体行事お菓子づくり
26日 第60回近畿地区知的障害関係施設職員研修会(27日)

【西陣児童館】

- 1月 17日 あすにこ食堂参加はぐくみネット中学生トーク(中山・鬼塚)
2月 7日 大学生とご飯デー
8日 西陣マルシェへ参加(坂本)
16日 乾隆小学校運営協議会(中山)
27日 学童クラブ新規利用保護者説明会(3月7日)

【くらリンク】

- 1月 9日 北部自立支援協議会運営会議
2月 28日 北部自立支援協議会全体会議
3月 26日 北部自立支援協議会地域懇談会
19日 北部自立支援協議会障害支援区分審査会

【こっこ2】

- 1月 14日 中部自立支援協議会事務局会議
8日 中部医療的ケア専門部会
2月 28日 中部医療的ケア専門部会
3月 25日 中部医療的ケア専門部会
24日 地域課題研究会
19日 相談支援専門員カフェ
12日 支えあいの会
10日 中部自立支援協議会運営会議
9日 中京区重層支援会議
6日 基幹支援センター会議

センター往来

◎1月16日(金) ハートピア京都で開催された福祉のお仕事相談会へ出展いたしました。

◎1月17日(土) 有志職員による「KATARibar」を行いました。美味しい食事だけでなくお酒も用意して皆でかこみながら未来の西陣について語り合いました。



なつかしい建物の写真を見ながら in カタリバ

◎1月24日(土) 正規職員会議を行いました。また同時に、身体拘束禁止・虐待防止研修もいたしました。

◎1月24日(土) 『西陣会なんちゃって職員食堂(2026冬)』にて、心と体によりお料理をたくさんの職員で味わいました。

◎2月6日(木) 総務委員会を開催いたしました。

◎2月8日(日) 大雪の中、「西陣の朝市マルシェ」が開催され、出店をさせていただきました。また遊び場ブースもさせていただきました。

◎2月14日(土) レクリエーション企画「珈琲とチョコ」を行いました。バレンタインデーにちなんでチョコと焙煎したコーヒを味わいました。

◎2月21日(土) 京都ブライトンホテルにて「嘉楽親睦会・定期総会」があり、市民福祉センター長の中山が参加させていただきました。

◎2月27日(金) 「KATARIBA 食堂#7」を行いました。グループホームの夕食メニューを味わいながら建て替えについて語り合う時間を過ごさせていただきました。

◎3月2日(月) 理事会、3月21日(土) 評議員会が開催されました。2025年度補正予算2026年度予算と事業計画について承認されました。

◎3月8日(日) FUKUSHI 就職フェア KYOTO へ出展させていただきました。

◎2月と3月に京都府福祉人材サポートセンター事

お礼

◎あすにこ食堂さまより 児童館へもち米30キロをいただき、3月21日のもちつきイベントに使用させていただきました。

◎嘉楽バンドクラブさまより、おままとセツトをご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。



事務局より「フクシ職場体験&キャリア」の大学生3名の受け入れをいたしました。



親子でペタン!

職員人事

◆就任

・地活ふらっと 所長
小西秀和(4月1日付)

今後の月曜集会の予定

4月13日・27日・5月11日・25日・6月8日・6月22日・7月13日・27日です。東館2階にて19時より開催します。お気軽にお越し下さい。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人西陣会

。法人本部

。京都市民福祉センター
。地域活動支援センター
。ふらっと

。地域生活支援事業
。レスパイトサービス

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣児童館

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣会居宅サービス係

。相談支援事業所きずな
。西陣会ホームとなり
。西陣会ホームきたまち

TEL (075) 417-3410
FAX (075) 441-1529

。デイセンターふらっと

。シヨートステイゆう

TEL (075) 417-3410
FAX (075) 441-1529

。京都市中部障害者地域生活支援センターにしじん

TEL (075) 417-1630
FAX (075) 451-1369

。京都市北部障害者地域生活支援センターきらりリンク

TEL (075) 751-1066
FAX (075) 751-1077